

## 福島日産、2024年度入社式・全社戦略会議を浪江町で実施。

～福島日産グループ約700名が浪江町に集結、浪江EVパーク建設予定地等をめぐる復興視察も。～



画像：入社式の記念写真

**福島日産自動車株式会社**（以下福島日産と略、本社：福島県福島市、代表：金子 與志幸）は、2024年4月1日（月）に、浪江町地域スポーツセンターで入社式と全社戦略会議を開催いたしました。入社式は福島日産と日産部品福島販売株式会社（以下日産部品福島と略）の合同で開催され、福島日産26名、日産部品福島4名の新入社員の門出が祝われました。金子社長は冒頭で、入社式が執り行われた浪江町で2025年開業目標の浪江EVパークに触れ、「入社式が行われているこの浪江町を新たな原点として、新入社員の皆さんと共に新しい会社の歴史を作っていきたい」と述べました。新入社員決意表明は、福島日産からは森田 紫保さん、日産部品福島からは佐々木 恵多さんがそれぞれこの日に向けた想いを語りました。浪江町出身の森田さんは入社前に福島日産の浪江EVパークの計画を知り、復興への取り組みが嬉しかった想いを告げました。入社式では2024年度企業活動テーマ「興～ふくしまの地域を興し、こどもたちが興じる環境づくりへ」とそれを象徴するシンボルビジュアルも発表されました。浪江町出身の日本画家舩田 玲香さんが描き下ろした作品がシンボルビジュアルとなり「花笑む」と命名されました。舩田さんのスピーチでは「人々が集まり、ここから新しく楽しい浪江の思い出が生まれていく。地域のことをほんとうに考え抜いて、いちはやく行動へ移し、突き進んでいく福島日産の皆さまと、こうして「はじまりのとき」を、絵を通してご一緒できていること、とても光栄に思います。」と話しました。入社式ではその他、日産自動車株式会社の来賓スピーチ、内田誠社長のお祝いメッセージも紹介され華やかな雰囲気で行われました。入社式後には、福島日産グループの社員約700名が浪江町に集結し、震災遺構 浪江町立請戸小学校見学や浪江EVパーク建設予定地視察など 請戸地区の散策を行いました。その後開催された全社戦略会議では2024年度企業活動テーマに関連した役員プレゼンテーションが行われ、参加した社員の皆さんは真剣な面持ちで話を聞いていました。福島日産では、2024年度企業活動テーマ「興～ふくしまの地域を興し、こどもたちが興じる環境づくりへ」を体現すべく、日々の活動・業務を邁進してまいります。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

福島日産自動車株式会社 広報担当 三浦・勝見 TEL：024-523-2111 MAIL：info@fukushima-nissan.co.jp



画像：決意表明の様子

## 「令和6年度 福島日産自動車株式会社 日産部品福島販売株式会社 入社式」

司会：福島日産 採用育成課 大槻 凌之

参加者：新入社員、保護者様、福島日産関係者、来賓 計約 200 名

### <式次第>

●開式

●来賓紹介：

日産自動車(株)東日本リージョナルセールスオフィス 地域担当部長 東北ご担当 青木 知春様

日産自動車(株)東日本リージョナルセールスオフィス エリアパフォーマンスマネージャー 福島ご担当 西尾 亮介様

●ご挨拶 福島日産 代表取締役社長 金子 與志幸

●ご挨拶 日産自動車(株) 常務執行役員 総合研究所所長 土井 三浩様

●辞令交付 新入社員：福島日産 26 名 / 日産部品福島販売 4 名

●決意表明 福島日産 森田 紫保 / 日産部品福島販売 佐々木 恵多

●メッセージ 日産自動車(株) CEO 内田 誠様

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

福島日産自動車株式会社 広報担当 三浦・勝見 TEL：024-523-2111 MAIL：info@fukushima-nissan.co.jp

- 2024 年度 福島日産企業活動テーマ&シンボルビジュアル発表  
登壇スピーチ 浪江町出身日本画家 舩田 玲香様
- 2024 年度 福島日産役員及び幹部社員紹介
- 閉式
- 記念撮影

(補足情報)



2024 年度福島日産企業活動テーマ&シンボルビジュアルについて

[こちら](https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000028.000129846.html)をご確認ください。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000028.000129846.html>

## 浪江町散策ツアーについて

実施目的：

- ・福島日産全社員のみなさんへ東日本大震災から 13 年経過した浪江町の現状を知ってもらう。
- ・福島日産の企業理念「いち、はやく」。これから本格化していく、0 を 1 にする取り組みでもある「浪江 E V パーク」の取り組みを身近に感じてもらう。
- ・浪江町これからの知ってもらう。「浪江グランドデザイン計画」、日産浜通りデザインセンター、浪江 E V パーク建設地等。

散策ツアーコース

メイン：震災遺構浪江町請戸小学校、請戸浜、浪江町地域スポーツセンター～日産浜通り地域デザインセンター、福島日産浪江 E V パーク建設予定地～浪江小学校跡地～浪江町中央公園

任意：中浜地区大震災記念碑、茗野（くさの）神社

(補足情報)



福島日産 浪江 E V パークについて

[こちら](https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000014.000129846.html)をご確認ください。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000014.000129846.html>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

福島日産自動車株式会社 広報担当 三浦・勝見 TEL : 024-523-2111 MAIL : info@fukushima-nissan.co.jp

### 【会社概要】

社名：福島日産自動車株式会社

代表取締役社長：金子 與志幸

本社所在地：〒960-8102 福島市北町 2 番 32 号

設立：1938 年 8 月 18 日

事業内容：福島県内において日産自動車の製造する車両の販売並びに修理、中古車販売、部品、用品の販売、自動車リース、レンタカー、自動車傷害保険代理業務など。

社員数：647 名（2023 年 5 月 1 日現在）

事業所：新車店舗：42 店、中古車店舗：7 店 ※現在富岡店は営業を休止しております

HP：<https://ni-fukushima.nissan-dealer.jp/>

電話番号：024-523-2111（代表）

メッセージ：

創業以来、自動車販売とサービスで福島県の皆様に安心のカーライフを提供してきました。目指すはカーディーラーを超えた、社会にとって本当の存在価値。人口減少、少子高齢化、過疎、再生可能なクリーンエネルギー社会、SDGs、災害対策、そして復興。地域が抱える様々な課題解決は簡単ではありません。変化が起きるのを待つのではなく、変化を起こす私たちになる。そのために、時代にしなやかに。地域に柔軟に。いち、はやく。

フクニチャージ：

## フクニチャージ

フクニチャージとはフクニチ(福島日産の略称)+チャージで、福島日産の電気自動車事業の総称。さらに、福島日産が提供する商品やサービスにより「福島に元気をチャージする」という意味が込められています。

<https://fukunicharge.com/>